

## 水土里レポート

投稿月日	令和3年12月6日
タイトル	初めてのみかん収穫祭
水土里レポーター名	佐賀県土地改良事業団体連合会 北村 直樹



ここ佐賀県鹿島市の山間部は、昭和39年から昭和56年にかけて国営多良岳パイロット事業が実施され、主に温州ミカンが作られています。

この時期は、みかん収穫の大詰めを迎えており、コンテナを積んだトラックが往来を慌ただしくしており、平成23年3月に開通した多良岳オレンジ海道（広域農道）は、運搬距離等の軽減になっております。

早朝のみかん畑は、肌寒さと澄んだ空気のみかんの匂いが混じって、清々しい気分になれます。

今回も多くの方にみかん収穫に来ていただきました。子供たちも、真剣な眼差しで一つ一つ丁寧に収穫されていました。（・・・食べるためにね♪）

